いこいの村

題字　梅の木寮

2014年（平成26年）4月20日発行

第383号

発行責任者　いこいの村聴覚言語障害センター
所長　柴田　浩志

編集　いこいの村編集委員会
〒629－1242
綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地
TEL（0773）46－0101
FAX（0773）46－0610
http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi

交通安全研修会を開催しました

春の全国交通安全運動週間に先立ち、いこいの村では綾部警察署の職員様を講師にお招きし、全職員を対象に交通安全研修会を行いました。

現在、いこいの村には約30台近い公用車があります。

デイサービスの送迎、パンの販売、利用者の通院支援など、いこいの村に勤務する職員にとって車の運転は不可欠です。この研修を通して改めて安全運転の大切さを再認識できました。

4月1日から、いこいの村の職員が十倉交差点付近と施設入口にて交通安全啓発運動を行います。

交通安全研修会での学びを忘れずに、これからも安全運転に努めます。

（いこいの村聴覚言語障害センター　副安全運転管理者　今中　智子）

楽しいことをみつけていこう！
～ユニットケアでできたこと、見えてきたこと～

ユニット化改修工事が終わり、新しい梅の木寮での生活が始まって、5ヶ月余りが経ちました。ユニット型になり、毎日関わる利用者の人数は、これまでの50人から20人余りへと変わりました。

私たち生活援助員（介護職員）は、近くで利用者と関わることができるようになり、一人一人の支援について、じっくり考えることができるようになってきました。しかし、食事や排泄、入浴の介助に追われ、なかなか行動に移すことができずにいました。

お好み焼きが食べたい

そんなある日のこと、テレビ番組をきっかけに、「呼鳥門（こどりもん）（いこいの村の近所のお店）のお好み焼きは500円くらい。おいしい」と、利用者の皆さんがわいわいと話をされていました。

すぐに看護職員や栄養士、調理員と相談しました。この会話から30分後には、「お好み焼きパーティをします」と皆さんに伝えました。

当日は利用者が、自らお好み焼きやたこ焼きを焼いて、皆さんおいしそうに、そして楽しそうに食べておられました。

また、終わった後に「ありがとう」という声をかけていただきました。自分が話した希望がすぐに実現した嬉しさを、この「ありがとう」から感じることができました。

焼き加減はどうかな？

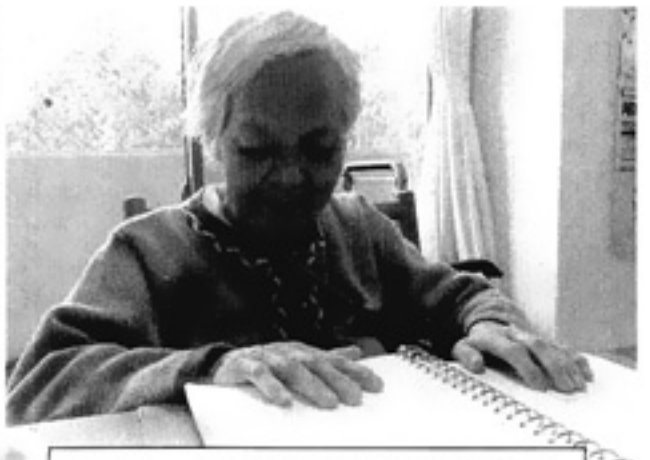
一人一人の支援を考える

梅の木寮には耳が聴こえない、目が見えない、盲ろうの方も数名おられます。盲ろうのMさんは、もともとおしゃべりがお好きな方でしたが、ゆっくり話をする時間がなかなか持てず、部屋で寝て過ごす時間が長くなっていました。

新しい梅の木寮になって、より近い距離でMさんと関わるようになりました。そして、これまでの状況を変えたいという思いが、一層、強くなりました。Mさんに楽しんでもらえることを考え、点字の本を読んでもらうことを始めました。

今まで、部屋で過ごす時間が長かったMさんが、利用者の皆さんが集まる、リビングで本を読まれるようになりました。Mさんは点字を指でなぞっては、手話や声に出して、内容を表現されています。

本を読み、再びたくさんの言葉と触れるようになったMさんは、自分から職員を呼んで、話をされるようになりました。



毎日、点字本を読んでいます

これまで気付くことができなかったMさんの力を知ることができました。その人をしっかりと見て、個々の支援を考えていく必要があると強く感じました。

今後に向けて

ユニット型になり、より密に利用者と関わることができるようになりました。そこから、一人一人に合った支援につなげていくことはまだ、始まったばかりです。

今回のような支援を一つ一つ積み重ねていき、次へとつないでいきたいと思います。利用者を見て、利用者の会話を聴いて、考えることも大切です。しかし、それだけではなく、利用者の皆さんから、思いを伝えてもらえる関係づくりを目指していきたいと思います。

（いこいの村・梅の木寮　西岡あおい　山内壮）

聴こえの豆知識

私は身体障害者手帳第1種2級（聴覚障害の最重度は2級）の認定を受けています。両耳100デシベルの感音性難聴です。

ろう学校幼稚部でことばの訓練を受けた後は地元の学校に通っていました。中学生になって聴力が落ちたのも重なり、授業が分からなくなりました。問題の答えや教科書のページ番号を書かない先生や早口の先生がいて授業についていけなくなりました。

担任の先生は「分からないことがあったら言ってね」と言ってくれるのですが、私は「ありません。大丈夫です」と答えていました。というのも、自分にとって分かるというのは、黒板の文字、教科書の文字、一対一での会話だけなのです。だから、何が分からないのかも分からなかったのです。

家族との会話は口話（音声による会話）です。どうしても分からない時にキュードスピーチ（ろう学校幼稚部でことばの訓練をする時に使う手話の指文字のようなもの）を使います。親戚の集まりになると人が多くいるので、口の動きを読み取ることが難しくなります。その時は母の口話による通訳に頼っていますが、「こんな話をしているよ」と教えてもらう程度なので自分は話に入ることができません。人の輪の中にいてもテレビを見ているだけです。

私はろう学校高等部に入って初めて手話を覚えました。これまで一対一での会話のみだったので、みんなでおしゃべりをすることの楽しさを初めて知りました。

職場では手話を使って話しています。梅の木寮の生活援助員（介護職員）だけでなく、看護職員や調理員、総務係の職員も手話を使います。手話を知らずに仕事に入った職員も伝えよう、伝えたいと努力してくれていると思います。ここでは難聴者も会議に参加し、ともに支援方法について意見を出し合うことができます。

聴覚障害のある職員として、聞こえない利用者の思いに寄り添いながら支援をしていきたいと思います。

利用者と手話で話します

（いこいの村・梅の木寮　波多野　文佳）

いこいの村
聴覚言語障害センター
所長　柴田　浩志

希望の架け橋

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた陸前高田市で、新たな街を作るため巨大なベルトコンベヤーが稼働し始めたとのニュースがありました。ベルトコンベヤーは、再生の足取りが加速することを期待して、「希望の架け橋」と名付けられたとのことです。人々にとって希望こそが生きる力であり、前進の源なのだと改めて思いました。

いつでも夢を

この京都府北部でも戦後の混乱が続く中で、希望を胸に活動された方がおられました。昨年9月に98才でご逝去された、元両丹ろうあ協会会長の高倉正次さんです。去る3月23日に高倉さんを偲ぶ会が、舞鶴グランドホテルで開催されました。

当日は、聴覚障害者協会会員や手話サークル会員等、生前に親交のあった86人が集い、高倉さんが一人ひとりの仲間を大切に活動したことや、舞鶴市への手話通訳者の設置に奔走されたこと等、数々のエピソードが紹介されました。とりわけ高倉さんは京都府北部にろう学校を作ることに、次代への希望を見出されました。そして学校ができるまで待っていたのでは遅いと、学校に行っていないろうあ者を集めて「ろうあ塾」を開く等、人として生きるための教育に情熱を傾けられました。

新年度を迎えて

高倉さんを先頭に、聴覚障害者福祉を切り拓いてきた京都府北部のいこいの村に、この春、新規採用の職員15名を迎えます。高倉さんの不屈の精神を受け継ぎ、希望を胸に事業の前進を図ります。

ありがとうございました

★☆★

◆後援会 ご入会・ご継続

今回の掲載は3月1日～3月31日受付分です。

植和田　万里子　様	福知山市	継
酒井　勝美　様	綾部市老富町	継
福井　真理子　様	綾部市睦合町	新
藤田　信一　様	綾部市武吉町	継
藤田　清子　様	綾部市武吉町	継
吉田　喬雄　様	綾部市武吉町	継
久保　健治　様	綾部市武吉町	継
久保　豊　様	綾部市武吉町	継
前田　道子　様	綾部市寺町	継
上田　吉信　様	福知山市	新
久後　寛次　様	綾部市東山町	継
井上　要　様	綾部市佃町	継
舞鶴要約筆記サークル「みみかき」　様	舞鶴市	継

（新－新規入会・継－継続）
◆「後援会」はいこいの村で現金受付させていただいた方のみの掲載です。
現金振込・自動引落の方は京都聴言ニュースに掲載させていただいております。

◆ご寄付　（1,000円以上　順不同）

トヨタカローラ京都㈱　様	京都市	車いす
鈴木　勝一　様	京都市	写真集　4冊
廣瀬　紀子　様	京都市	石鹸　他
匿名　様	京丹波町	8,000円
坂田　進　様	綾部市	マッサージチェア
匿名　様	綾部市	シャワーチェアー・紙パンツ
四方　靖　様	綾部市	10,000円
四方　艶子　様	綾部市	10,000円
速水　松雄　様	綾部市	5,000円
渡邊　逸郎　様	綾部市	衣類・紙パンツ

今回の掲載は3月1日～3月31日受付分です。

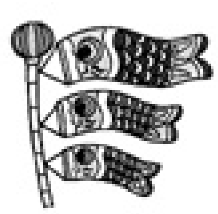
【掲載誤りのお詫び】
第382号1面において、下記の間違いがありました。訂正するとともにお詫び申し上げます。
（訂正） 誤「スマイルたの」 → 正「スマイルたの楽」

○●○

実践報告集
いこいの村だより17
～ 輪 ～

間もなく完成します

【 5月 在宅サービスの予定 】
☆デイサービスの予定
散髪の日　3日，10日，17日，24日，31日
リハビリの先生の来所日　15日，29日
☆配食サービス
月～土曜日（山家・口上林地区対象）
☆耳の相談日
5月22日（木）
会場：いこいの村とくら福祉センター
時間：午後1時　～　午後3時　要予約



◆職員の動き

【採用】
★施設第一福祉部　作業係
渡邉　幸之助　椋田　優香　小林　陽平
安井　将　橋本　光弘
★施設第二福祉部　生活第1係
橋本　雅子　村田　功一　山本　真実
和田　淳希
★施設第二福祉部　生活第2係
吉木　幸三　森下　和樹　森川　僚
塩尻　圭子
★高齢福祉部　介護支援係
木村　聡子
★地域福祉部　聴言支援係・舞鶴市
彼末　沙記

【退職】
★総務部　総務係　主任
稲葉　純子
★施設第二福祉部　生活第2係
引原　ひとみ　中村　道恵　吉見　政義
★地域福祉部　中丹支援係　主任
大石　美也子
★地域福祉部　聴言支援係・綾部市
吉田　明代
★地域福祉部　聴言支援係・与謝郡
古本　賢介

【異動】　《　》は、旧所属
★地域福祉部
（部長）村松　充　《京都市聴言センター》
★施設第二福祉部
（部長）記　由美　《地域福祉部》
★総務部総務係　主任
（主任）四方　暁　《総務部　総務係》
★施設第一福祉部　作業係　主任
（主任）前川　恵子　《施設第一福祉部　作業係》
★施設第二福祉部　生活第1係
呉竹　一人　《京都市聴覚言語障害センター》
滝野　稔　《地域福祉部　聴言支援係主任》
★施設第二福祉部　生活第2係
冬木　千佳　《総務部給食係》
渡辺　元樹　《施設第一福祉部　作業係》
★地域福祉部　聴言支援係・舞鶴市
（主任）今西　和弘　《地域福祉部聴言支援係・舞鶴市》
★地域福祉部　聴言支援係・与謝郡
岡本　耕平　《施設第二福祉部　生活第1係》
★地域福祉部　聴言支援係・福知山市
長岡　英樹　《施設第二福祉部　生活第1係》
★地域福祉部　聴言支援係・綾部市
菅井　奈津子　《高齢福祉部デイサービス係》
宮原　二三弥　《施設第一福祉部　作業係》
★高齢福祉部グループホーム係
（主任）吉田　正和　《高齢福祉部　介護支援係》
★高齢福祉部　介護支援係
川崎　史生　《高齢福祉部グループホーム係主任》
★高齢福祉部　デイサービス係
新井　千尋　《施設第二福祉部　生活第2係》
★京都市聴言センター
奥本　初実　《施設第二福祉部　部長》